音声読み上げ用年間行事予定テキスト.docx

2020年4月から2021年3月　名古屋市博物館

名古屋市蓬左（ほうさ）文庫・名古屋市秀吉（ひでよし）清正記念館

# 令和2年度の名古屋市博物館

　展覧会名称や会期等の詳細は今後変更される場合があります。最新情報は博物館公式サイトで。 http://www.museum.city.nagoya.jp/

## 1階展示室　特別展・企画展

#### 4月18日から6月14日まで　特別展　不思議の国のアリス展

作家ルイス・キャロルの名作「不思議の国のアリス」は、誕生から今年で150年余となりました。物語の世界観や個性豊かなキャラクター達は、現在もなお人々を魅了し続けています。本展では、原点ともいえる原画から、影響を受けた現代作品まで、日本初公開を含む貴重な資料を紹介し、アリスの不思議な魅力の秘密をひもといていきます。

#### 7月18日から9月6日まで　特別展　ゲーセンミュージアム

みなさんはゲームセンターで遊んだことがありますか。博物館では今回、ゲームセンターを遊び場のひとつとして考え、デパートの屋上、ボーリング場、インベーダーハウス、喫茶店、駄菓子屋、大型ゲームセンターといったゲームができる遊び場を紹介します。

ゲームはピンボール、スペースインベーダー、パックマンなどなど。ほぼすべてのゲームがプレイ可能な大規模展です。協力、日本ゲーム博物館（株式会社小牧ハイウェイ企画）

#### 10月10日から12月6日まで　模様を着る

　衣服や布を彩る模様。その模様は伝統を大切に受け継がれながら、時の流行に刺激され、新しいものが生み出されてきました。百貨店の松坂屋は新しい呉服デザインの創作の参考として、さまざまな時代、地域の布地を、小さなハギレにいたるまで集めました。本展ではコレクションにみられる模様を通して意味を探りながら、そこから見える人々の暮らしや想いにも迫ります。見て楽しく、あなたの創造意欲も刺激するテキスタイルデザイン集です。

#### 12月7日から12月14日までは館内点検のため休館します。

#### 令和3年1月9日から3月7日まで　企画展　なごやのうつりかわり

　小学校3年生は社会科の授業で、名古屋市の様子や人々の生活のうつりかわりについて学習します。それに合わせて開催する本展では、名古屋市を構成する「うみ（沿岸部）」「やま（丘陵部）」「まち（町場）」の特徴と生活の変化を紹介します。また、名古屋駅や名古屋港の始まり、電気やガスの普及など、生活に大きな影響を与えた出来事を取り上げて、明治時代から現在にかけて名古屋市がうつりかわる様子をたどります。

## 2階展示室　常設展「尾張の歴史」

### フリールーム

　常設展示室の中の展示替えコーナーです。長期間展示できない資料や新収蔵資料などを中心に、小規模な企画展示を随時開催しています。

#### 営業再開から5月24日まで　新発見 高蔵遺跡

熱田区高蔵遺跡は弥生時代の大集落、古墳時代の古墳群として有名です。最新の発掘調査からその魅力に迫ります。共催、名古屋市教育委員会

#### 5月27日から6月21日まで　絵葉書に見る戦前名古屋の風景

　空襲で市街の大半が焼かれた名古屋では多くの建築が失われました。また戦後の開発によって、各地の風景も大きく変わりました。名古屋と近隣地域の失われた風景を、絵葉書に遺された写真と絵で紹介します。

#### 6月24日から8月23日まで　エルモ社と小型映画

　小型映画は、家庭で扱いやすい小さなフィルムを使う映画の形式です。名古屋創業の小型映画機器メーカー、エルモ社の資料とともにその歴史をたどります。

#### 8月26日から10月25日まで　伊勢湾台風61年

　昭和34年（1959）9月26日に襲来した伊勢湾台風から61年。昨年度開催の「特別展　治水・震災・伊勢湾台風」に引き続き、新収資料を中心に大災害の知られざる実態を紹介します。

#### 10月28日から12月6日まで　中国・日本歴代銅鏡

　古代から中国で作られ日本にも伝わった銅鏡は、神秘的な力をもつ文物として珍重されてきました。中国・日本の銅鏡のさまざまなデザインと不思議な世界をご覧ください。

#### 12月15日から2月21日まで　江戸時代の墓石

　江戸時代、故人供養のための墓石造立が大名から一般民衆まで広く普及し、一定の墓制が確立しました。尾張地方の墓石を中心に、当時の墓事情を紹介します。

#### 2月23日から3月21日まで　天下人と清須

　室町時代より尾張守護所として発展し、天下人の活躍舞台となった清須。目まぐるしく代わる政権のもとでの城下町・清須の様子を紹介します。

### テーマ10　近世尾張の文化

　名古屋城下の文化的な繁栄ぶりをしめす絵画や工芸品（こうげいひん）を、定期的に展示替えしています。

#### 営業再開から5月24日まで　狐の嫁入り

　擬人化された狐たちが装束をまとって花嫁行列をなす「狐の嫁入り図」の江戸後期における作例を紹介します。

#### 5月27日から6月21日まで　かせんえ

　優れた和歌の詠み人（歌仙）の姿を描いた絵を「歌仙絵」と呼びます。館蔵品を中心とした絵画作品から、バリエーション豊かな歌仙たちの姿を紹介します。

#### 6月24日から8月23日まで　江戸時代の火縄銃

　室町時代後期に日本に伝わり、いくさの様相を大きく変えた火縄銃。江戸時代には武士の学ぶべき武芸の道具として独自の進化を遂げました。近年の収蔵品を中心にご紹介します。

#### 8月26日から10月25日まで　ばんまさおみ

　阪正臣（ばんまさおみ）は、名古屋出身の歌人・書家です。歌や書の教育にも尽力し、教科書の執筆も手掛けています。書作品や著作を中心に、彼の業績を紹介します。

#### 10月28日から12月6日まで　じゅういちやこいでしょうべえけ

　江戸時代から尾張藩御用達の呉服店として繁栄し、近代には百貨店じゅういちやとして人々に親しまれた、じゅういちやこいでしょうべえけについてゆかりの品々より紹介します。

#### 12月15日から2月21日まで　なかばやしちくとう、ちっけい、ふんぽん資料

　名古屋生まれの文人画家なかばやしちくとう、1776年から1853年）とその息子ちっけいのふんぽん群から、２人の創作の秘密にせまります。ふんぽんとは下書きや手本とするための摸写のこと。

#### 2月23日から3月21日まで　豊根村熊谷家の衣装

　熊谷家は愛知県豊根村にある江戸時代の建築様式が残る民家です。婚礼衣装や紋付羽織など、同家に伝わる明治から昭和にかけてのさまざまな着物を紹介します。

### テーマ16　まつり

#### 営業再開から5月24日まで　かすいしゃのりゅうじんからこ

　戦災を経て若宮祭から出来町天王祭へと受け継がれただし「かすいしゃ」。かつて若宮祭で引かれていた頃に使われていたからくり人形「りゅうじんからこ」を紹介します。

#### 5月27日から6月21日まで　よりともしゃの大幕

　清須市西枇杷島町問屋町のだし「よりともしゃ」。尾張藩主から下賜されたとも伝わる見事な大幕の一部を紹介

#### 6月24日から8月23日まで　写真で見る昭和のまつり

　近年新たに収集した写真資料から、昭和30年代前後のまつりの様子を紹介。名古屋まつりや七夕祭りなどの様子を、かつての町の風景や人びとの姿と共にご覧ください。

#### 8月26日から10月25日まで　もみじがりしゃだし模型とサンピン人形

　中村区上花車のだし「もみじがりしゃ」。そのからくり人形のうち「サンピン人形」を、だし本体の模型とともに紹介します。

#### 10月28日から12月6日まで　土人形の世界

　まつりなど季節の行事にゆかりのある土人形。そのなかには、さまざまな色や形をしたものがあります。素朴であたたかい土人形の世界をお楽しみください。

#### 12月15日から1月24日まで　正月の遊び

　すごろくや羽子板、名古屋独特のたこなど正月の遊び道具を展示します。

#### 1月27日から3月21日まで　ひな人形

　女の子が健やかに成長するようにと願いが込めたひな人形。美しく優しいお顔の人形たちをぜひお楽しみください。

## 話題のコーナー

#### 営業再開から5月24日まで　京都・銀閣寺の当初計画地を特定－ぜんりんじ文書

京都の銀閣寺（慈照寺）は、室町幕府8代将軍足利義政が建てた東山山荘が前身となっています。義政は、当初この山荘をえうんいんという寺院の跡地に計画していましたが、応仁・文明の乱が勃発したため計画は頓挫しました。

　応仁の乱終結後、東山山荘は現在地に計画変更して建設されましたが、当初の計画地えうんいんの場所はこれまではっきりとわかっていませんでした。

　昨年に行われた馬部隆弘氏(大阪大谷大学准教授)の調査により、当館所蔵「禅林寺文書」の中に、「えうんいんあとち」が売買された古文書が見つかったことで、「えうんいん」の位置が具体的に判明しました。このたびこの文書を展示するとともに、京都・東山ぜんりんじ伝来の古文書から、名刹の知られざる歴史の一面を紹介します。

#### 5月27日から6月21日まで　時の記念日100周年記念　「時」を知る

時の記念日は、日本で最初に時を知らせた故事に由来しています。時間の大切さを意識するために設けられてから今年は100年目の節目の年。改めて「時」について考えます。

## イベント・セミナー

　※参加にあたり、障害等により特別な配慮が必要なかたは、事前申し込みの事業は申し込み時に、当日参加の事業は2週間前までに博物館にご相談ください。

### 歴史体験セミナー

２と４の応募は、往復はがき・名古屋市電子申請サービスのいずれかにてご応募ください。1通2名まで。参加者氏名・年齢・希望日時・住所・電話番号記載。詳しくは、博物館公式サイトをご覧になるか、お問い合わせください。

#### １．むかしのおもちゃで遊ぼう！

7月18日（土曜）から9月6日（日曜）まで

開館日の9時30分から17時まで（入場は16時30分まで）

会場：１階特別展示室

参加費：無料

#### ２．自分だけのまが玉づくり

8月22日（土曜）と23日（日曜）　各日2回

1回目：10時から11時30分まで

2回目：13時30分から15時まで

定員：各回50人（小学校3年生以下は要保護者同伴）

参加費：1人400円

要事前申し込み　申し込み期間：7月1日から7月17日まで（必着）

#### ３．正月のおもちゃ

12月15日（火曜）から1月24日（日曜）まで

開館日の9時30分から16時30分まで

会場：2階常設展示室

参加費：常設展観覧料が必要です

#### ４．おいしく作ろう　おこしもん

2月20日（土曜）　2回

1回目：10時から11時まで

　2回目：11時30分から12時30分まで

定員：各回60人（小学校3年生以下は要保護者同伴）

参加費：1人400円

要事前申し込み　申し込み期間：1月5日から1月27日まで（必着）

### 各種イベント

　当館（とうかん）にて開催する様々なイベント

#### １．ワークショップまつり

博物館ボランティアによるワークショップまつり。常設展で開催します。

7月25日（土曜）と26日（日曜）

　要常設展観覧料。

#### ２．ナイトミュージアム企画

夜の博物館を体感するイベントです。常設展で開催します。

8月2日（日曜）

#### ３．はくぶつかん古書市

10月10日（土曜）から10月18日（日曜）まで

### はくぶつかん講座

　学芸員などが講師をつとめる講座です。10時開講（9時30分開場）。各回当日先着100名。（立ち見はできません）

#### 第1回：4月25日（土曜）　たかくら遺跡の歴史と最新の調査成果

#### 第2回：5月30日（土曜）　かせんえ

#### 第3回：6月6日（土曜）　時の記念日100周年記念 「時」を知る

#### 第4回：6月20日（土曜）　尾張の武士さまざま

#### 第5回：9月26日（土曜）　写真で見る伊勢湾台風

#### 第6回：10月31日（土曜）　新発見の中国・ごの銅鏡

#### 第7回：12月19日（土曜）　江戸時代のお墓事情

#### 第8回：2月13日（土曜）　戦前の名古屋と近郊の風景

#### 第9回：2月27日（土曜）　天下人と清須

#### 第10回：3月6日（土曜）　石器の話

# 令和2年度の名古屋市ほうさ文庫

#### 4月12日から5月31日まで　春季特別展　家康から義直へ－尾張藩誕生物語－

　天下統一を果たした徳川家康と尾張国統治を任された息子の義直。義直へ受け継がれた治世方針に着目しつつ、二人の生涯や義直の家康への思いを、遺品等からよみときます。

#### 6月6日から7月12日まで　企画展　祈りのこころ－尾張徳川家の仏教美術－

　尾張徳川家伝来の華麗な経典・仏像・仏画や、供養のために寺院に奉納され、墓所へ埋葬された個人の遺愛品などから、大名家の人々が仏教に寄せた思いをひもときます。

#### 7月18日から9月13日まで　企画展　怪々奇々－鬼・妖怪・化け物…－

　古典文学に記された怪奇現象や、描かれた幽霊や鬼・妖怪などの世界をご紹介します。

#### 9月20日から11月3日まで　秋季特別展　殿さまが好んだヨーロッパ－異国へのまなざし－

　尾張徳川家に伝わる日本と西欧を関連づける品々は、国内でも類を見ない貴重なコレクションです。本展では、このコレクションを他家伝来品等と併せて一堂に紹介します。

#### 11月8日から12月13日まで　企画展　読み継がれた源氏物語

　日本が世界に誇る古典の名作『源氏物語』の文化史をたどり、その魅力を紐解きます。また、五島美術館所蔵の国宝「紫式部日記絵巻」を特別公開します。

#### 12月14日から1月4日まで　特別整理・年末年始休館

#### 1月5日から1月31日まで　企画展　竹－日本の美－

日本人にとって最も身近な植物の一つである「竹」にまつわる様々な作品から、竹とともに育まれた日本の美意識を探ります。

#### 2月6日から4月4日まで　企画展　尾張の百科事典－御秘本『張州雑志』－

　尾張藩で「御秘本」として扱われた地誌『張州雑志』。本展では、本書に描かれた宝物・動植物・風俗等の色鮮やかな記録画を展示し、江戸時代の尾張の世界を紹介します。

# 令和2年度の名古屋市ひでよし清正記念館

#### 営業再開から4月26日まで　パネル展　武将と治水

　水を制する者が国を制す。人間に不可欠な水を、戦国武将は、城の守備あるいは城破りに用いました。秀吉・清正の城下はじめ各地に残る水利用の跡を紹介します。

#### 4月29日から7月5日まで　パネル展　てんかびとの城と戦い

　戦国の城に張り巡らされていた守備と攻撃の工夫について、布陣図や縄張図とともに考えます。

#### 7月18日から9月22日まで　特集展示　明智光秀とひでよし・清正

　光秀が信長を倒した本能寺の変は、ひでよしにとっては天下を手にするための千載一遇の転機でした。本能寺の変前後からのひでよしと清正の足跡をたどります。

#### 10月3日から10月9日まで　館内点検のため休館

#### 10月10日から12月13日まで　特別陳列　兼松家

　信長、ひでよし、家康につかえた尾張の名将兼松正吉とその子孫について、兼松家から寄贈された資料を中心に紹介します。

#### 12月23日から2月21日まで　パネル展　ひでよし清正物語１

　館蔵の絵画を中心に、ひでよしと清正の生涯をたどります。

#### 3月13日から5月9日まで　パネル展　ひでよし清正物語2

# 利用案内

## 名古屋市博物館

〒467-0806　名古屋市瑞穂区みずほどおり1-27-1

電話：052-853-2655

ファックス：052-853-3636

開館時間：9時30分から17時まで（入場は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日、8月13日（火曜）は臨時開館）、毎月第4火曜日（祝日を除く）、館内点検休館日（12月7日から14日まで）、年末年始休館（12月28日から1月4日まで）。

観覧料：常設展は一般300円、高大生200円、中学生以下無料。

　　　　30名以上の団体料金は、一般250円、高大生150円。

　　　　市内在住の65歳以上の方は100円。要敬老手帳等。

　　　　特別展・企画展は、その都度定めます。

（交通）お出かけは公共交通機関で。

地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口から南へ徒歩5分。

金山バスターミナルから、市バス金山14系統（桜山経由）「博物館」下車。

駐車場（70台収容）ふつうしゃ：1回300円

大型バス：1回1,200円

最新情報は博物館の公式サイトで。　http://www.museum.city.nagoya.jp/

## 名古屋市ほうさ文庫

〒461-0023　名古屋市ひがしく徳川町1001

電話：052-935-2173

ファックス：052-935-2174

開館時間：10時から17時まで（入室は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日、8月11日（火曜）は臨時開館（ただし閲覧室は休室）、特別整理・年末年始休館（12月14日から1月4日まで）。

観覧料：一般1,400円、高大生700円、小中生500円。

　　　　※徳川美術館と共通。

（交通）

名古屋駅、栄より：市バス（基幹バス2号系統）・名鉄バス「徳川園新出来」下車、徒歩3分。

大曽根より：JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分。

## 名古屋市ひでよし清正記念館

〒453-0053　名古屋市中村区中村町茶ノ木25（中村公園文化プラザ2階）

電話：052-411-0035

ファックス：052-411-9987

開館時間：9時30分から17時まで

観覧料：無料

休館日：毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日）、毎月第4火曜日（祝日を除く）、館内点検（10月3日から9日まで）、年末年始（12月28日から1月4日まで）。

（交通）

地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分。

# 名古屋市博物館

　名古屋市博物館は1977年（昭和52年）に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

## 1階

### 特別展示室・部門展示室

　特別・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催。

### オーギュスト・ロダン作「考える人」

　「考える人」の像の前で記念撮影ができます。

### ミュージアムショップ

　オリジナルグッズ、歴史書などを販売。

## 2階

### 常設展「尾張の歴史」

　2階展示室では、常設展「尾張の歴史」を開催。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は定期的に展示替えをおこないます。この他に小規模な企画展示をおこなう「フリールーム」などがあります。その他のテーマでも随時展示替えをおこなっています。

※　ボランティアによる解説をおこなっています。お気軽に声をおかけください。

#### テーマ1：狩猟・採集の時代

#### テーマ2：稲作のはじまった頃

#### テーマ3：古墳とその時代

#### テーマ4：古代の尾張

#### テーマ5：窯業

#### テーマ6：中世の尾張

#### テーマ7：尾張の統一と信長・秀吉（ひでよし）

#### テーマ8：尾張藩の成立

#### テーマ9：城下町の人々

#### テーマ10：近世尾張の文化

#### テーマ11：幕末維新の尾張

#### テーマ12：名古屋市の成立と近代産業

#### テーマ13：近代のくらしと文化

#### テーマ14：戦争と市民

#### テーマ15：なりわい

#### テーマ16：まつり

## 3階

### ギャラリー

　市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。

## 喫茶コーナー：カフェ・サルターレ

　コーヒーと軽食をご用意しています。営業時間は10時から16時30分まで。無料休憩所（きゅうけいじょ）も併設。博物館の建物を出て左にあります。

# 「友の会」会員募集中！

入場割引：企画展・常設展は無料。特別展は当日券の半額。

特典：会員限定見学会・広報モニター会招待・カフェドリンク割引・博物館事業情報郵送など。

年会費：正会員（せいかいいん）3,000円

　家族会員2,000円

お問い合わせ：名古屋市博物館 友の会事務局（052-853-2655）まで。